

# 総務生活常任委員会

日時：令和6年10月25日（金）

午前9時30分から

場所：第1委員会室

## 1 所管課からの報告

〔市長戦略部〕

○広報プロモーション課

- ・地球上でもっとも緑茶を愛する街・静岡県島田市の「推し活は茶畑で。」実施報告（確定版）について（資料あり）

〔危機管理部〕

○危機管理課

- ・令和6年度島田市地域防災訓練の実施について（資料あり）

〔行政経営部〕

○行政総務課

- ・第50回衆議院議員総選挙について

○課税課

- ・土地台帳を閲覧に供する事務の廃止に伴う島田市手数料条例の一部改正について（資料あり）

## 2 その他

地球上でもっとも緑茶を愛する街・静岡県島田市の「推し活は茶畑で。」  
実施報告（確定版）

1. 実施概要

日程：令和6年7月2日（火）から7月8日（月）まで

午前11時00分～午後8時00分

※初日（2日）は午後1時00分スタート、最終日（8日）は午後6時00分終了

会場：JR 東京駅地下1階改札内イベントスペース「スクエア ゼロ」

内容： シティプロモーション「島田市緑茶化計画」を主体に「東京駅であなたの『推し緑茶』と出逢う」をテーマに空間を演出し、島田市緑茶化計画オリジナル緑茶ブランド「Green Ci-Tea」を使った7種の緑茶と緑茶ハイ、緑茶ソフトクリームに加え、新たに7種の緑茶パフェや飲み比べセットを販売した。

また、市内茶商や生産者によるオリジナル商品や和菓子などの地場商品の販売や緑茶体験の場を設けた。

さらに、「推し緑茶バッジ」や「推し緑茶うちわ」のプレゼント企画を実施し、推し活要素を取り入れた企画を展開した。

2. 来場者数及び販売状況

(1)来場者数 50,584人

※イベント会場入口が3か所あったが、そのうち2か所で計測した値  
そのため、実質的にはさらなる来場者あり

(2)販売状況

売上金額：10,125,056円 ※R4緑茶縁日売上（4,004,104円）の2.52倍

購入者数：5,996人 ※R4緑茶縁日購入者（3,117人）の1.92倍

3. 島田であそぼうけん利用実績

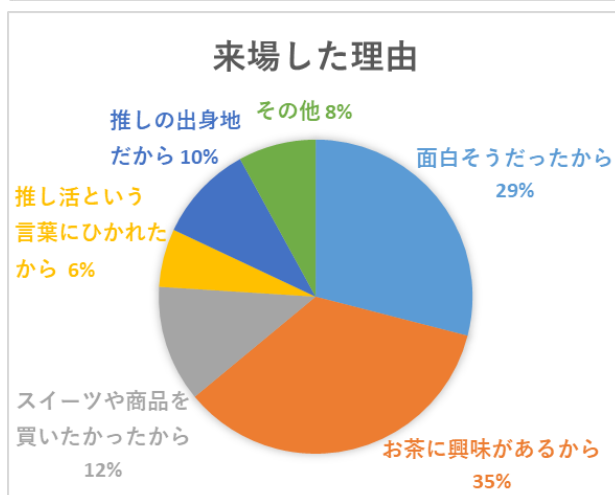
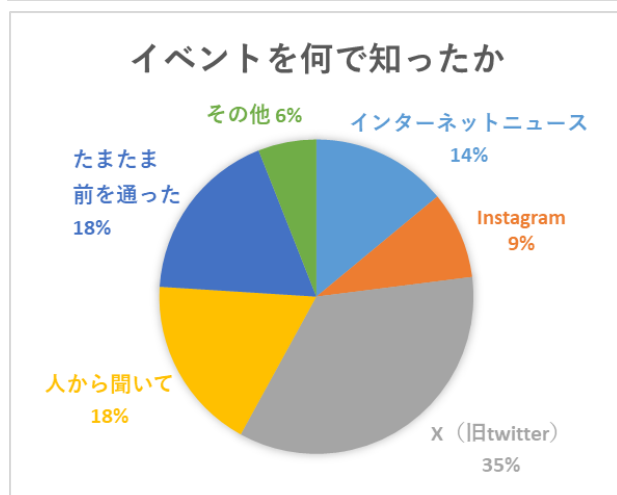
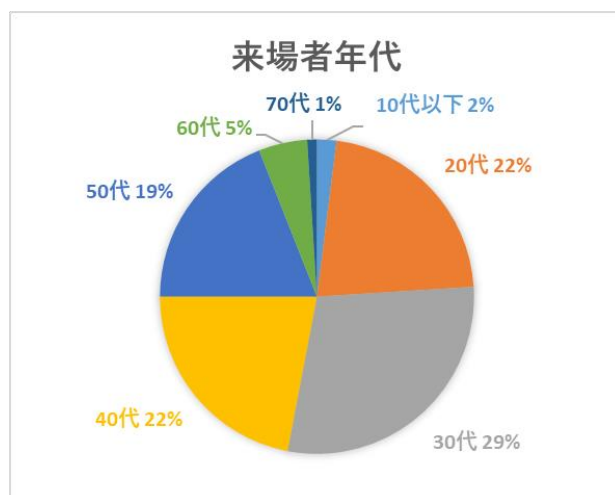
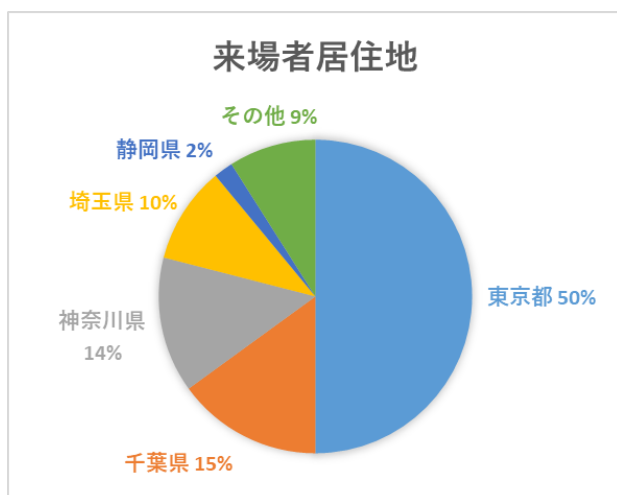
イベント期間中に会場にて、商品購入者などへ島田市内の8施設で使えるクーポン券（約3,500部）を配布し、10月18日現在で以下の利用があった（利用期限：来年2月28日）。

利用件数：62件

利用金額：44,770円

4. 来場者アンケート（抜粋）

イベント期間中に、来場者を対象にアンケートの回答をお願いし、528件の回答をいただいた。



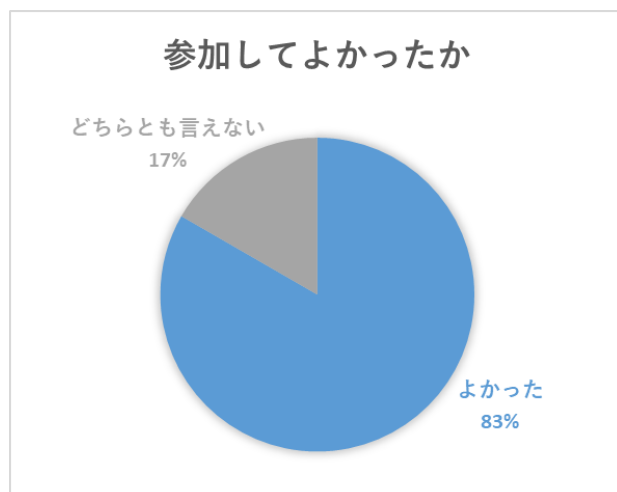
※複数回答可 延べ 584 件回答

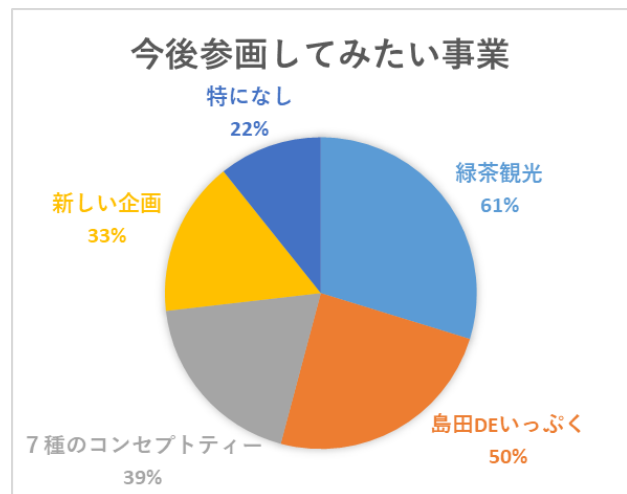
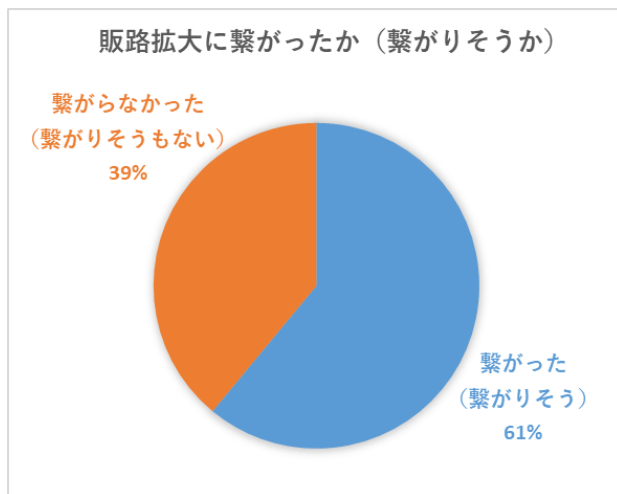
※複数回答可 延べ 968 件回答

来場者の声：いろいろな種類のお茶があって雰囲気が素敵でした  
 飲み比べは味の違いもあって楽しかった  
 島田市に行きたい、行きました  
 実際のお茶の木が素敵でした など

## 5. 参加事業者アンケート

イベント終了後に参加事業者を対象に実施し、参加事業者 28 者のうち 18 者から回答をいただいた。回答があった参加事業者の業種は、お茶関連 10 者、その他 8 者であった。





※複数回答可 延べ 37 件回答

## 参加事業者の声：

### （出展について）

- ・ 1 事業者では難しい東京駅での出展はありがたい
- ・ 次回も参加したい、継続してほしい
- ・ 来客数が多くお茶に関心の高い方も多くコミュニケーションがとりやすかった
- ・ 若い人や女性が多かったのが印象的
- ・ まだまだお茶の国内需要はあると思った
- ・ 消費者のニーズを知ることができ商品開発の参考にしたい
- ・ お茶や観光などの体験は関心があると感じた
- ・ 試飲ができなくて残念だった
- ・ レジが混んでいて商品を返された
- ・ 飲食スペースが少なかった など

### （今後実施したい企画）

- ・ 東京駅以外の東京都内でも開催してほしい
- ・ 市内での定期的なイベント
- ・ 茶畑やお茶屋を活用するツアー
- ・ 商品開発・販売方法の検討 など

## 6. メディア掲載

ワールドビジネスサテライト（テレビ東京）、NIKKEI NEWS NEXT（BS テレビ東京）など、60 社以上のテレビ、新聞、雑誌、インターネットニュース、Xなどに掲載された。

## 令和6年度 島田市地域防災訓練の実施について

(危機管理部 危機管理課)

### 1 訓練目的

南海トラフ地震が発生した場合において、市、自主防災組織、住民、防災関係機関等の相互の連携・協力による情報の受伝達や災害応急対策等の確認・検証を行い、市と地域の防災力の向上を図ることを目的とする。

### 2 訓練想定

市内で震度6弱以上の揺れを観測し、各地で家屋の倒壊、山・がけ崩れ、道路・橋の損壊等の被害により多数の負傷者が発生した。

### 3 実施日時

令和6年12月1日（日）午前9時から正午まで

※午前9時に訓練の地震発生を知らせるサイレンを市内全域に吹鳴する。

### 4 実施主体・参加機関等

島田市、自主防災組織、静岡市消防局島田消防署、島田市消防団、静岡県中部保健所、陸上自衛隊、関係機関（東海旅客鉄道(株)、東海ガス(株)、中部電力パワーグリッド(株)）

### 5 訓練内容

#### (1) 自主防災組織主体による例

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自主防災組織 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に居住する人材把握（看護師、消防・警察・自衛隊経験者等）</li> <li>・ 地域内に居住する要配慮者を把握し、発災時の対応の検証</li> <li>・ 災害時に地域内で実施する行動を示した地区タイムラインの確認</li> <li>・ 日中、夜間、平日、休日等の発災条件の違いによる体制のあり方について検討、意識の共有化</li> <li>・ 中学生、高校生、外国人等の参加を促し、地域ぐるみの訓練の実施</li> <li>・ 一人でも多くの住民が資機材を操作出来るよう、丹念な作動訓練</li> <li>・ 地区本部運営要領の確認、地区の被災情報の収集体制の確認</li> <li>・ 避難所の運営要領の確認</li> <li>・ 市災害対策本部等との情報伝達体制の確認</li> <li>・ 自宅避難者の把握方法や取りまとめについて、避難所運営組織、地区本部組織を含めての体制の検討</li> </ul> |
| 各家庭    | <p>日頃からの備え、自らの命を守る「自助」のためにとるべき行動の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常持ち出し品の点検、確認</li> <li>・ 家庭内DIG等により家庭内の危険を認識、安全性の確認</li> <li>・ 家具の転倒防止、ガラスの飛散防止、ブロック塀の転倒防止に向けた対策</li> <li>・ 災害用伝言ダイヤル（171）等を利用した家族間の安否確認</li> <li>・ 災害時に家庭内で実施する行動を示したマイタイムラインの確認</li> </ul>                                                                                                                                                                                    |

※ 訓練の実施及び内容は、各自主防災組織にて決定する。

#### (2) 市との連携による訓練（会場型訓練）

会場：島田市立六合中学校（体育館、グラウンド ほか）

地区：道悦島自主防災会（道悦一丁目、道悦二丁目、道悦三丁目、高島町）

内容：避難所開設運営訓練、帰宅困難者避難受入訓練、要配慮者避難受入訓練ほか

【参考】 ※道悦島自主防災会等と実施に向けて準備を進めている訓練項目

| 訓 練 名 称                                                     |                                             | 参 加 対 象                | 場 所             |
|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|------------------------|-----------------|
| 地区本部訓練<br>(自主防災組織の本部を地域の公民館等に開設し、地域の被害状況等の掌握、指定避難所との連携を図る)  |                                             | 自主防災組織                 | 道悦島公民館          |
| 避難所開設運営訓練<br>(避難所開設及び運営について、受付設置や資機材の組立て等を実施する)             |                                             | 市・避難所運営委員会             | 六合中学校 体育館<br>ほか |
| 初期消火訓練<br>(水消火器及び可搬ポンプの操作を行い、放水の体験を行う)                      |                                             | 消防署・消防団・<br>自主防災組織     | 〃 運動場           |
| 倒壊家屋からの救出訓練<br>(消防署の協力により倒壊家屋に取り残された要救助者を自主防災組織が救出する訓練)     |                                             | 消防署・消防団・<br>自主防災組織     | 〃 運動場           |
| ドローン情報収集訓練<br>(倒壊家屋に取り残された要救助者の捜索及び情報収集をドローンの赤外線カメラを活用して行う) |                                             | 市                      | 〃 運動場           |
| 給水(取水)訓練<br>(ろ水器を使って汚れた水をろ過し、飲料水・生活用水の取水を体験する)              |                                             | 市・自主防災組織               | 〃 運動場           |
| 炊き出し訓練<br>(協定事業者と連携した炊き出し訓練)                                |                                             | 自主防災組織・<br>協定事業者※東海ガス㈱ | 〃 駐車場           |
| トイレ設置訓練<br>(仮設トイレの設置及び使用について体験する)                           |                                             | 市・自主防災組織               | 〃 駐車場           |
| 帰宅困難者避難受入訓練<br>(JR六合駅と連携し、乗客を避難所に受け入れるための誘導、受付を行う)          |                                             | 自主防災組織・<br>東海旅客鉄道㈱     | 〃 体育館           |
| 要配慮者避難受入訓練<br>(避難所における要配慮者の受付及び受入を行う)                       |                                             | 市(救助班)・<br>避難所運営委員会    | 〃 体育館           |
| 展<br>示<br>訓<br>練                                            | ・車両<br>・防災パネル<br>(災害時における活動)                | 陸上自衛隊第34普通科連隊          | 〃 運動場           |
|                                                             | ・防災パネル<br>(ペット同行避難)                         | 県中部保健所                 |                 |
|                                                             | ・トイレカー                                      | 市                      |                 |
|                                                             | ・電源車<br>・防災パネル<br>(災害時における活動)<br>(停電情報アプリ等) | 中部電力パワーグリッド㈱           |                 |
| 救護所開設訓練<br>(六合公民館に救護所を設置し、六合中学校から負傷者の搬送及びトリアージを行う)          |                                             | 市(救護班)・医師会 ほか          | 六合公民館           |

## 土地台帳を閲覧に供する事務の廃止に伴う島田市手数料条例の一部改正について

## 1. 概要

令和7年3月末で土地台帳を閲覧に供する事務を廃止しようとするに伴い、島田市手数料条例の一部を改正する条例を11月定例会に議案として提出予定のため報告する。

## 2. 改正の内容

島田市手数料条例 別表8の項を削除する。

別表(第2条関係)

| 番号 | 手数料を徴収する事務    | 名称        | 種類 | 区分 | 金額        |
|----|---------------|-----------|----|----|-----------|
| 8  | 土地台帳を閲覧に供する事務 | 土地台帳閲覧手数料 |    |    | 1回につき300円 |



|   |    |
|---|----|
| 8 | 削除 |
|---|----|

## 3. 土地台帳を閲覧に供する事務とは

島田市では課税課窓口及び川根地域総合課窓口において、縦覧期間終了後の6月1日から翌3月31日までの間、土地に係る登記情報（大字、地番、登記地目、登記地積、登記名義人）について記載された台帳を閲覧に供しており、1回につき300円の手数料を支払えば何人でも閲覧が可能となっている。

## 4. 件数実績（直近3年度）

| 年度 | 閲覧件数（件） | 閲覧手数料（円） |
|----|---------|----------|
| R6 | 65      | 19,500円  |
| R5 | 143     | 42,900円  |
| R4 | 202     | 60,600円  |

※9月末まで

## 5. 廃止しようとする理由

- (1) 個人情報に対する市民意識の高まりにより、個人情報の取扱いをより一層慎重にする必要があると判断するため。
- (2) 令和7年度のシステム標準化において、土地台帳を出力する機能がなく、事務継続する場合には1,500千円から2,000千円程度の予算措置が必要となるため。

## 6. 県内23市の状況

令和6年1月1日現在、県内23市中、島田市を含めた5市のみが土地台帳閲覧業務を行っている。